



シナリオ名 巫女の生誕を寿ぐは

想定プレイヤー人数 3人

博麗霊夢、

射命丸文、

東風谷早苗、

ニツギミツ

記念日、

サブライブパーティ、

ギャグ

難易度 Easy

作 中西詠介

巫女の生誕を寿ぐは

サンプルシナリオ

挿絵・猫憑ノコ

バックストーリー

博麗神社、人間の寄りつかない場所に立つ妖怪神社である。その日も、博麗神社には妖怪や、妖怪じみた人間が集まっていた。

しかし、その渦中にいつもの霊夢の姿はない。巫女の居ぬ間になんとやら、神社に集う人妖たちは、偶然にも巫女のとある秘密を知り、巫女に隠れてある計画を企てる。

蝋燭を立てたケーキに、丁寧に包んだ贈り物、そして特別な日を祝う大勢の出席者。主役の知らぬところで勝手に話が進むそれは、なんのことはないただの宴会のはずだった。

幻想ナラトグラフ「巫女の生誕を寿ぐは」

そこに立つのはただ一人。倒れる人妖の姿を見下ろしながら、彼女は一人ため息を吹く。

その胸には奇妙な違和感。この「異変」の真相を突き止めるため、何も知らない主役の巫女は、ただこの幻想郷の空を飛ばす。

このシナリオについて

このシナリオは、『東方Project』二次創作TRPG『幻想ナラトグラフ』（以下『幻想ナラトグラフ』）で遊ぶことのできる、想定プレイヤー人数が3人、難易度が「Easy」のシナリオです。

このシナリオ単体では遊ぶことができません。必ず手元に一冊以上の『幻想ナラトグラフ』のルールブック（以下「ルールブック」）を用意して、いつでもルールを参照できる状態で遊んでください。

このシナリオには、選択禁止キャラクターとして「博麗霊夢」「射命丸文」「東風谷早苗」「ニツギミツ」が設定されています。これらのキャラクターをPCとしてこのシナリオを遊ぶ場合、調整が必要です。

登場NPC

本シナリオには、NPCとして「高麗野あうん」「森近霧之助」が登場します。NPCが登場するシーンに合わせて、各NPCの紹介を記述していますので、GMはそれらの記述に合わせて、彼らの台詞や行動の演出を行ってください。

ルールブックを用意
その他にゲームを遊ぶために必要なものは、ルールブックのP114から紹介しています。それらも合わせてご用意ください。



あらすじ

ある日の昼下がり、博麗神社に集まったPCたちのもとに、東風谷早苗が訪れます。彼女は博麗の巫女である博麗霊夢の誕生日が明日であることを知り、霊夢のためにサプライズパーティを開くことを考え、PCたちに相談をしにきたのです。

早苗の相談を受け、PCたちは誕生日当日までの間にパーティの準備を進めることとします。

幻想郷中を巡って、パーティに必要なケーキ、プレゼント、そして参加者を集めることに成功したPCたちは博麗神社へと戻ります。しかし、そこにはPCたちや早苗の行動に疑念を感じ、「異変」と捉えた霊夢が待ち構えているのです。霊夢は、問答無用といった体でPCたちを攻撃します。

熾烈な「弾幕ごっこ」の結果、霊夢をなんとか落着かせたPCたちは、霊夢にこの次第を説明します。そのうちに、PCたちと早苗が信じた「霊夢の誕生日」は勘違いだと判明します。実際にはそれは、**霊夢の考える高麗野あうんの誕生日**だったのでした。

描写の流れ

物語はある日の昼下がり、PCたちが博麗神社を訪れるところから始まります。ここでGMはPCを順番に場面に登場させて、プレイヤーにそれぞれのPCがお互いに出会った際の反応などを描写するように促すと良いでしょう。

普段なら、来客の存在に気づいた博麗霊夢（ルールブックP128）がPCたちを迎えてくれるはずですが、この日、彼女の姿はありません。どうやら、買い出しか何かに出かけているようです。霊夢の代わりに、神社の奥からは狛犬の高麗野あうん（下記参照）が現れ、次のようにPCたちに挨拶します。

「あ、（PCの名前）じゃん。あいにくだけど、霊夢さんは今出かけているの。今は私がお留守番中」

「怪しい人なら追いつ返せって言われているけど、（PCの名前）なら多分大丈夫よね」

霊夢が不在の神社で、PCたちはしばらく何をすることもなくたむろすることとなります。PCたちが神社に留まる理由が特に思い浮かばない場合は、GMはあうんがここぞとばかりにPCたちに話しかけてきて、離れることができなくなってしまうなどと理由を説明してください。

進行の手順

このシナリオの進行は、以下の通りです。

導入フェイズ

導入フェイズが始まったら、P2に記述されているバックストーリーを読み上げ、自己紹介、初期値の設定を行い、続いて以下の内容を参考に導入の描写を行ってください。

季節と舞台

このセクションで描かれる物語の季節は**真夏**です。ただしセクション中、特に他の参加者から質問されない限り、GMはこの物語で描かれる季節について名を言う必要はありません。

セクション中、周囲の様子を描写する際も、季節を限定する描写は避けると良いでしょう。

導入の描写は、PCが「博麗神社」（ルールブックP268）にたむろしているところから始まります。

天真爛漫な守護神獣
高麗野あうん

「霊夢さんにはずっと恩返しがしたいと思ってたのよ！」



種族：狛犬 神仏を見つけ出す程度の能力

主に博麗神社で暮らす狛犬の少女です。神社や寺など、人間の信仰を集めそうな場所を好み、誰に指示されるでもなく勝手に守護することを日課にしています。元は狛犬の石像に宿るただの神霊でしたが、幻想郷の賢者の一人、摩多羅隠岐奈が起こした異変の結果、魔力を受けて妖獣として具現化したという過去を持ちます。

霊夢の考える
あうんは元々実体を持たない神霊であり、今の姿になる前から存在していました。その意味で、本当に「あうんの誕生日」と言えるかどうか微妙なところですよ。

真夏

このシナリオの最中、PCたちは物語で描かれる季節である真夏のある日を「博麗霊夢の誕生日」とあると信じて幻想郷を奔走することとなります。しかし、実際にはPCたちは勘違いをしているだけであり、「本当の博麗霊夢の誕生日」は本シナリオ中で名寄せされません。もし、参加者の中に、博麗霊夢の誕生日が夏であることを名を言うかのように描写する様子を不審に思う方がいる場合は、ネタバレであることを前置した上で、右記の内容を説明してください。

そうこうしていると、やがて**東風谷早苗**（ルールブックP164）が神社に現れます。彼女は少し興奮した様子でPCたちに「あら、皆さんちようどいいところにお集まりですね!」と話しかけると、こう相談を持ちかけてきます。

「ふっふっふ。実はさつき、とっておきのスクープを掴んだんですよ。なんと明日、霊夢さんの誕生日なんですって!」

「さつき、人里で食材の買い出しをする霊夢さんを見かけたんですよ。普段より少し良いものを買っているみたいだから、何かあったのかと気になって、少し様子を覗いていたんですけど……」

「そうしたら、お店のおじさんもそう思ったみたいで『今日は何かあったのかい?』なんて話しかけられていて、それに霊夢さん、『まあ、明日は誕生日だからね』なんていうじゃないですか!」

「それで、これはえらいことを聞いちゃったぞと思って、すぐに神社まで飛んできたんですよ。霊夢さんの誕生日ですよ! 誕生日!」

彼女はここまで話してから、はたと冷静さを取り戻したのか、こぼんと咳払いします。そして、続けて以下のように提案を持ちかけます。

「ということ、ここからは皆さんにご相談なのですが……私たちが霊夢さんの誕生日パーティを開きませんか?」

「霊夢さんが自分の誕生日をたった一人で祝われる、というのも寂しいでしょう? 外の世界ではこういう時、本人に内緒でパーティを準備するんですよ!」

「いわゆる、サプライズパーティってやつですよ!」
早苗の提案を聞いて、あうんも目を輝かせて同意します。

「素敵じゃない! 霊夢さんにはずっと恩返しがないと思ってたのよ!」

「でも、霊夢さんの誕生日がこのあたりなんて気づかなかったなあ」

「皆さんも、勿論手伝ってくれるよね?」

PCたちが一定の興味を示すなら、あうんと早苗は意気揚々と準備を始めることでしょう。

もし、PCたちが興味なさそうにしているなら、早苗とあうんの気に圧されて、準備を手伝わされることとなります。

ともあれ、ここまでを描写したら、導入フェイズは終了となります。

東風谷早苗
早苗をPCとしているプレイヤーがいる場合は、適当なキャラクターへ差し替えて演出を行ってください。霊夢と関わりがあった、人里へ足を運ぶ機会が多い霧雨魔理沙などが適任でしょう。

PCの動機

幻想郷において、博麗霊夢は特別な存在です。幻想郷の人妖のバランスを保つには、異変解決の専門家の中でも代表的な人物である彼女の存在は不可欠といつてよいでしょう。

PCたちのような人妖の中で、霊夢との因縁が全く無い者は居ないといつてもよいはずですよ。

霊夢に抱く思いがどのようなものであれ、PCたちの多くはこの機会に霊夢を祝うのも悪くはない、と思うことでしょう。

また、早苗が提案した「サプライズパーティ」という形に興味を持ち、霊夢を驚かせてやろうと悪戯心を抱く者も少なくはないはずですよ。

古くから幻想郷に暮らす一部の妖怪にとっては、誕生日パーティは**馴染みのない風習**かもしれません。そうした彼女たちにとって、この出来事は単なる「宴会の前触れ」に見えます。

何かにつけてお酒を飲む機会を求めている彼女たちにとっても、この話はそれほど悪いものではないでしょう。少なくとも、神社で宴会を開くには十分すぎる理由だからです。

探索フェイズ

探索フェイズは、**1日目の朝サイクル**から開始してください。探索フェイズの開始時には、PC全員は「博麗神社」のスポットにいることとなります。

探索フェイズの開始時に、GMは本シナリオのP13に記述されている以下のクエストの「表の要素」を公開してください。

- 暢気な巫女へのプレゼント
- 楽園の素敵なケーキ
- 空飛ぶ不思議な招待状

早苗の話によると、「霊夢の誕生日」は明日です。誕生日パーティを間に合わせるためには、パーティの準備は明日の夜までには済ませておくべきでしょう。この探索フェイズのリミットは「2日目の夜」です。

この探索フェイズでは、あうんと早苗の2人がPCたちに並んで**パーティの準備**を進めます。GMはこの2人を適宜シーンの描写に登場させるのがおすすめです。

馴染みのない風習
日本で誕生日を祝う風習が一般化したのは明治時代を迎えてからのことです。

1日目の朝サイクル
導入フェイズの描写は屋下がりから始まりましたので、事後的にその日の朝サイクルに起こっていた出来事を決めていく形となります。

パーティの準備
2人はPCたち同様にクエストの解決に動んでいそうですが、ゲームルールの処理としては、この2人が【手がかり】をクエストに置いたり、クエストを解決したりすることはありません。あくまでクエストの解決はPCが行う必要があります。

クエスト「暢気な巫女へのプレゼント」

クエストシーンが発生したら、GMは以下の描写を
読み上げてください。

霊夢に贈るプレゼントを探すため、あなたたちは香
霖堂を訪れた。香霖堂の店先には、相変わずがら
たとも商品ともわからない外の世界からの迷い物が溢
れている。これだけの物があれば、最適な贈り物も見
つかるというものだろう。

店主の森近霖之助（下記参照）はいつも通り、やる
気のない顔で君たちの事を眺めている。

「霊夢への贈り物ねえ。彼女がこの商品に興味を持っ
てくれたことはほとんどないけれど」

「まあ、適当に物色してくれたまえ」

そういう店主の言葉をよそに、あなたたちは商品の
物色を始めることだろう。ただ、物に溢れたこの場所
から、目当ての物を探すのは至難の業だ。

さて、どこから探すのが良いだろうか……。

以上までの描写を読み上げたら、クエストに指定さ
れている行為判定を行ってください。

その後、以下の描写を読み上げます。

香霖堂店主

森近霖之助

「いわはこれは、

『贈られる』という用途のアイテムなんだ」



種族：人間と妖怪のハーフ

道具の名前と用途が判る程度の能力

外の世界から流れ着いた品を主に扱う小道具屋「香
霖堂」を営む店主です。人間と妖怪を分け隔てなく
客として扱う人物ですが、相手によらず人当たりは
よくありません。商売にもあまり興味がないようで、
珍しい商品や、使用法の判る商品が入ると、それを
非売品にして自分のものにしてしまう癖があります。

積み上がる「商品」との格闘の末、あなたたちは霊
夢に贈るプレゼントを1つ決めた。

「決まったかい？ なるほど、君たちらしい」

霖之助はそう言うと、特に文句も言わずにその商品
を持っていくようにあなたたちに促す。普段ならここ
で訳の分からない蘊蓄が飛び出したりするものだが、
今日はどこか口数は少なめだ。

「霊夢への贈り物なのだろう？ まあ、彼女よろしく
言ってくればそれでいい」

「贈り物というのは、物そのものよりも贈るといふ事実
の方が意味を持つ。それが何であるかより、彼女のた
めにそれを選んだという事が大事なんだ」

「君たちが選んだ時から、これらは『贈られる』という
用途のアイテムだ。そこに何かを口添えるのも無粋と
いうものだろう」

ともかく、霊夢へ贈るプレゼントはこれで確保でき
た。彼女が喜んでくれるかどうか。その不安と期待に
胸を膨らませることもまた、贈り物の醍醐味だ。

以上の描写と処理を終えたら、このクエストシーンは
終了となります。

クエスト「楽園の素敵なケーキ」

クエストシーンが発生したら、GMは以下の描写を
読み上げてください。

「鯨吞亭」は妖怪居酒屋としてその筋に知られている店
だ。通常の営業を終えた真夜中になると、夜な夜な妖
怪が集まりだして、妖怪専門の居酒屋としての姿を見
せるのだという。看板娘の奥野田美宵も妖怪だ。

あなたたちが「鯨吞亭」を訪れると、店主に対面す
る席に腰掛け、一人の客が酒をちびちびと傾けていた。
彼女の手元に置かれているのは幻想郷では見慣れない
形の瓶で、その中には老酒のように琥珀色をした酒が
入っている。間違いない、彼女こそ人里にあって洋酒
を傾ける「洋酒通」と呼ばれる客その人だろう。

「なんじゃ？ 人のプライベートをそんな風にジロジ
ロ覗き込むもんじゃないぞい」

その口調に、あなたたちは覚えがある。いやに古風
な話し口に、幻想郷の住人が持ち得ない外の世界の知
識、化けてはいるが、正体は化け狸の頭領……ニッ岩
マミゾウ（ルールブックP184）に違いない。マミ
ゾウもまた、あなたたちの正体に気づくと、はあとた
め息をついてみせた。

プレゼント

霊夢へ贈るプレゼントが
具体的にどんなものか
は、ここでは詳しく決め
ません。参加者の間で、
霊夢への贈り物としてふ
さわしいと思う物や、P
Cであるキャラクターた
ちが贈り物として選びそ
うなものを話し合っ
て、良いアイデアと思っ
たものがプレゼントとな
ります。

奥野田美宵

鯨吞亭の看板娘として働
く座敷わらしの妖怪で
す。鬼の伊吹萃香の持つ
狐單に住み着いた結果、
邪魔としての力を併せ
持っています。素直で丁
寧、働き者な性格で、妖
怪ですが人間に危害を及
ぼすつもりはありません。

「なんじゃ、お主らか。俺はこの通りオフじゃよ」
 「妖怪が人里で酒を呑んで何が悪い。ここで妖怪騒ぎを起すのも、お主らにとっての本意じゃないじゃろう？」

「ははーん。お主らもさては洋酒の噂を聞きつけたんじゃない。ダメじゃダメじゃ。これはとつても貴重なもの。お主らには一滴たりともやらんぞ」

「それとも、俺と勝負でもするかえ？ 飲み比べでよければいくらでも乗ってやるぞい」

「マミゾウはこう言っつて、あなたたちに挑発的な目を向けた。彼女の誘いに乗るか、それとも彼女を楽しませる、より良い方法があるだろうか。」

以上までの描写を読み上げたら、クエストに指定されている行為判定を行ってください。
 その後、以下の描写を読み上げます。

「はっはっは！ こりゃ愉快愉快！」
 あなたたちの尽力の結果、マミゾウはあなたたちに協力する気になってくれたようだ。

「いやなに、この前紫のやつがこの店に洋酒を置いてた事があって、少し懐かしくなつてのう」

九天の滝、天狗の暮らす場所にほど近い、妖怪の山の中腹にある大瀑布だ。ここに訪れば勝手に天狗たちが追払いにやってくるのだから、彼女たちにコンタクトをとるにはお逃え向きの場所と言えるだろう。

「あやややや。侵入者の報告で来てみれば、まさか貴方たちは」

あなたたちが滝で天狗を待っていると、そこに現れたのは「幻想郷最速」をうたう鴉天狗の新聞記者、射命丸文（ルールブックP158）だった。

彼女はどこか面倒そう半分、警戒心半分に貴方たちを見やり、出方を伺っている。

「二応言っておきますが、私の本分は新聞記者です」
 「こんな風に警備に駆り出されるのは本意ではないんだけどねえ」

「巫女の誕生日？ へえそれはそれは。確かに、芸能人のプロフィールには高値がつくからねえ」

「でも、それだけのネタで報道操作つても私の活券に関わるわね。ここは少し取引してもらわないと」

あなたたちの話す提案に、彼女は面白がつてはくれようだ。だが彼女を説得するには、**あと一押し**といつたところか。

「少し奮発して、こうやってちびちびやつてるといわけじゃ」

「お主らに協力するのはやぶさかじゃないが、この酒はさすがにやれんのう……そうじゃ！」

「マミゾウはそこまで言つて手のひらに葉っぱを取り出すと、それに軽くもう片方の手のひらをかざす、手のひらの中には、**洋酒の入った小瓶**が乗っていた。

「あつちんやそのものずばり、菓子作り用の洋酒というものもあつてな」

「実物はパーティまでに仕入れておくから、楽しみにしておくんじゃな」

そういうと、マミゾウは「俺もパーティ、楽しみにしておるぞい」と激励してくれます。

マミゾウの提供する洋酒を隠し味にできれば、美味しいケーキを振る舞うことができそうです。

以上の描写と処理を終えたら、このクエストシーンは終了となります。

クエスト「空飛ぶ不思議な招待状」

クエストシーンが発生したら、GMは以下の描写を読み上げてください。

以上までの描写を読み上げたら、クエストに指定されている行為判定を行ってください。
 その後、以下の描写を読み上げます。

あなたたちの持ちかけた「取引」を受けて、文はにっと笑みを浮かべて見せた。

「まあ、及第点つてところね」

「わかりました。要するに巫女に悟られないように、巫女以外のみんなをパーティに招待すればいいのね」

「私は清く正しい新聞記者だから、特定の誰かだけ除け者にするのは初めてでねえ。腕が鳴るつて物だわ」

そういう彼女は、どこか楽しそうだ。一通りあなたたちとの交流を終えた彼女は「では、私はこれにて」と挨拶だけかわすと、凄まじい天狗風と黒い羽根を残してその場からいなくなつてしまった。なるほど、「幻想郷最速」の名は伊達ではないらしい。

しばらくして、あなたたちの耳にも次第に「博麗霊夢 パースデーパーティ」の噂が届くようになる。

神社にどれだけの人妖が集まるか、楽しみだ。

以上の描写と処理を終えたら、このクエストシーンは終了となります。

洋酒
 かつて、この饅吞亭に妖怪たちが入り浸り始めた時のこと、妖怪が人里で集まることを懸念した八雲紫が警告のために、仕掛けを施した一瓶のウィスキーをこの店に贈ったことがあります。

洋酒の入った小瓶
 外の世界で量販店などで販売されている製菓用ブランドーです。ただし、PCたちに見せているのは、マミゾウの化力で作った形だけ整えただけのものようです。

芸能人
 博麗の巫女は舞いの神事なども職掌であり、芸能人といえなくもないでしょう。まあ、有名人には違いありません。

あと一押し
 文はPCたちの提案に乗る気なので、基本的にはどのような内容であっても取引には応じるつもりです。何か譲歩を引き出したい、というより、すんなりと引き受けるのが願ただけでしょう。

決戦フェイズ

この決戦フェイズの弾幕ごっここの対戦相手は「博麗 霊夢」となります。

決戦フェイズの最初に、GMは以下の描写を読み上げてください。その後、弾幕ごっこが開始されます。

決戦前の演出

美味しいケーキ、霊夢へのプレゼント、そしてパーティを楽しむたくさんの参加者、全てを揃えられたあなたたちは意気揚々と博麗神社へ歩みを進める。これだけの準備をすれば、素晴らしいパーティになるはずだ。霊夢もさぞ驚くことだろう。

博麗神社が見えた頃、あなたたちは神社の違和感に気づいた。そこは方々に荒れ果てていて、先ほどまで熾烈な「弾幕ごっこ」が繰り広げられていたのは明らかだ。戦いの跡地となったその境内には、二人の人影が倒れている。

「皆……さん。どうかご無事で……」

「霊夢さん……これは違うんです……どうして……」

そこに倒れていたのは、ぼろぼろになった早苗とあうんだった。彼女たちは、あなたたちへの警告をうわ

事のように呟いている。

彼女たちの警告を聞いた次の瞬間、あなたたちの背筋に強烈な殺気が襲った。

「あなたたちね。コソコソと動き回って、私に隠れて何かを企んでいるという連中は」

「あなたたちが飛び回っているのはなんとなく知っていたからね。ブン屋まで使って周到な情報網を構築していたそうじゃないの。これは**異変**に違いない！」

「あなたたちがどんな企みを企てても、この私から逃げることはできなから！」

そうあなたたちへ殺気を向ける言葉の主は、この幻想郷のバランスを保つ博麗の巫女にして、あなたたちが祝おうとした張本人、博麗霊夢その人だった。

あなたたちはふと思いつく。彼女はこういう人間だったと。何かおかしい、怪しいと感じることや、疑念があった時、何よりもまず暴力で解決することを志向する暴力巫女だったと。

彼女の手には、御札や針が握られている。

こうなってしまった彼女を説得するのは不可能と言うものだろう。

彼女を鎮めるためには、「弾幕ごっこ」を仕掛けるしかない！

対戦相手

博麗霊夢の戦闘力は、ルールブックのP277の「決戦フェイズ」に登場する敵NPC」に記述されているものを参照してください。

博麗霊夢の【残り人数】を「0点」にして勝利することができれば、決戦フェイズは終了です。続く終幕フェイズに移行しましょう。

終幕フェイズ

終幕の演出では、以下の描写を読み上げてください。

結末の演出

博麗神社、人間の寄りつかない場所に立つ妖怪神社である。この日の神社は特に、妖怪や妖怪じみた人間が集まり、その様はまるで人里の人間がみれば、妖怪に占領されたと思われるも仕方がないほどだった。

「結局、宴会になるのね。どうせ片付けをするのは私なんだから、こっちの身にもなって欲しいもんだわ」

賑やかな神社で酒を飲みながら、そう霊夢は愚痴をもらす。弾幕ごっここの末、取り押さえられた彼女は、観念して今の状況を楽しむことにしようだ。

「で、コソコソと嗅ぎ回っていたのは宴会をするためなら私だけ除け者することないじゃないの」

霊夢がそう疑問を口にした事で、あなたたちはようやく彼女に事の次第を説明することができた。だが、その答えを聞いた彼女は顔をきよとんとさせる。

「へ？ 私の誕生日？ サプライズパーティ？」

「私の誕生日なんてどこかで言ったかしら。というより、そんなの今日でもなんでもないわよ」

不思議そうな表情を隠さずそう漏らす彼女に、早苗は凍りついた。

「待ってください！ 霊夢さん、誕生日がどうかお祝ってましたよね。人里で美味しいものまで買っちゃって」

「そんな事言ってたっけかなあ……」

何の事か全くわかっていない霊夢をよそに、早苗はさらに困惑の表情を浮かべた。霊夢はうんと何かを思い出そうと喉を鳴らしていたが、しばらくして「あ」と声を漏らす。

「ああ、そっか。あの話ね。あれはね。あうんちゃんの誕生日の事だと思っ」

「ほら、あうんちゃんって、隠岐奈のやつが**四季異変**の時に作った妖怪って話だったじゃない？ なら四季異変の頃が誕生日って言えるのかなって思っ」

なんとなく

霊夢は直感に優れた人物です。そのため、自分にも知らされていなくても、周囲で何かが起こっているらば、それを感じ取る力が備わっています。

異変

特に何かの変調が幻想郷に起こっていないかたとしても、霊夢が違和感を感じたなら、霊夢はこれを「異変」と認識します。

四季異変

ある年の真夏、幻想郷の各所がそれぞれに別々の季節に彩られた異変です。その原因は妖精の後ろに扉が作られた事で、扉から得られる魔力で妖精が活性化し、自然の力を増幅させたことでした。

<h3>クエストシート(表)</h3> <p>クエスト名 楽園の素敵なケーキ</p> <p>レベル 2</p> <p>クエストの概要</p> <p>明日は霊夢の誕生日だ。サプライズパーティに必要なものを集めて、霊夢をあっと驚かせてやろう。早苗は、誕生日パーティには鯛燻を立てたケーキが欠かせない、と語っていた。美味しいケーキ作りの秘訣を探ってみよう。</p> <p>クエストの公開条件</p> <p>探索フェイズ開始時から公開</p>	<h3>クエストシート(裏)</h3> <p>解決方法 <input checked="" type="checkbox"/> 行為判定 / 指定タグ: (妖怪)</p> <p><input type="checkbox"/> 弾幕ごっこ <input type="checkbox"/> 自動解決</p> <p>解決場所 人間の里</p> <p>クエストの真相</p> <p>美味しいケーキ作りに必要な隠し味といえば洋酒と相場が決まっているようだ。幻想郷で西洋菓子や洋酒といえば紅魔館が真っ先に思い浮かぶが、あそこのお酒には何が入っているかわかったもんじゃない。噂では人里で営まれている「觥呑亭」には、最近洋酒にはまったという一人の常連客がいて、どこからか手に入れてきた洋酒とともに洋酒の蘊蓄を語ってくれるとか。彼女に会えば、秘蔵の洋酒にありつけるかもしれない。</p> <p>このクエストの【レベル】の数だけ、このクエストに【手がかり】が置かれると、クエストの裏の要素が公開されます。</p>
---	--

<h3>クエストシート(表)</h3> <p>クエスト名 空飛ぶ不思議な招待状</p> <p>レベル 2</p> <p>クエストの概要</p> <p>明日は霊夢の誕生日だ。サプライズパーティに必要なものを集めて、霊夢をあっと驚かせてやろう。やっぱりなんといっても、催し事は人数が多い方が盛り上がるというものだ。サプライズという性質上、霊夢に気取られないように気をつけながら、興味のある人妖を誘ってみよう。</p> <p>クエストの公開条件</p> <p>探索フェイズ開始時から公開</p>	<h3>クエストシート(裏)</h3> <p>解決方法 <input checked="" type="checkbox"/> 行為判定 / 指定タグ: (天狗)</p> <p><input type="checkbox"/> 弾幕ごっこ <input type="checkbox"/> 自動解決</p> <p>解決場所 九天の滝</p> <p>クエストの真相</p> <p>情報の流れを制御したいのなら、やはり天狗に協力してもらおうが一番だろう。天狗が風の噂と共に招待状でも流してくれたれば、巫女に気取られずにパーティの開催を幻想郷中に知らせることができるはずだ。面白いネタを探し求める天狗にとっても悪い話ではないはず。天狗とコンタクトをとってみよう。</p> <p>このクエストの【レベル】の数だけ、このクエストに【手がかり】が置かれると、クエストの裏の要素が公開されます。</p>
--	--

<h3>クエストシート(表)</h3> <p>クエスト名 暢気な巫女へのプレゼント</p> <p>レベル 2</p> <p>クエストの概要</p> <p>明日は霊夢の誕生日だ。サプライズパーティに必要なものを集めて、霊夢をあっと驚かせてやろう。早苗曰く、外の世界では誕生日には祝われる本人に贈り物を贈るのが定番のようだ。霊夢にびったりな贈り物はなんだろう？ 少し考えてみるとしよう。</p> <p>クエストの公開条件</p> <p>探索フェイズ開始時から公開</p>	<h3>クエストシート(裏)</h3> <p>解決方法 <input checked="" type="checkbox"/> 行為判定 / 指定タグ: (森近森之助への絆)</p> <p><input type="checkbox"/> 弾幕ごっこ <input type="checkbox"/> 自動解決</p> <p>解決場所 香霖堂</p> <p>クエストの真相</p> <p>物珍しいもので溢れている場所といえば、香霖堂を置いて他には語れない。あれだけの物に囲まれていれば、霊夢にピッタリな贈り物を見つけることもできるだろう。香霖堂へ行って、商品を物色してみよう。</p> <p>このクエストの【レベル】の数だけ、このクエストに【手がかり】が置かれると、クエストの裏の要素が公開されます。</p>
---	--

「毎年その頃になるとあうんちゃんにかこつけて、ちょっと良いものでも買っちゃおうかなって気分になれるから、そう眩くようにしていたのだけど」

「というか、どうして早苗がそんな事知ってるのよ」

「それはこう、私もゴシップ好きですし」

早苗のその言葉に、霊夢ははあため息を漏らした。しかし、真剣に呆れたり、怒ったりはしていないようだ。結局、飲めればなんだっていいらしい。

「でも、それじゃあ霊夢さんでなくても、あうんちゃんの誕生日には違いなんて事ですね！ 誕生日パーティの準備が無駄にならなくてよかったですかも」

「あれ、誰か私の話をしました？」

続く早苗のその言葉で、余所で歓談していたあうんがふとあなたたちの輪に入ってくる。

飛んで火に入る彼女をどう迎えるか。

それは霊夢と早苗、そしてあなたたち次第だ。

以上の描写を行った後、終幕フェイズの一連の処理を行ってください。

その後、セッションは終了となります。

Good Ending! お疲れ様！